



新春のご挨拶

2024年のクイーンズ駅伝後、佐々木瑠衣選手から主将を引き継いだのが鈴木樺連選手。
新主将としての意気込みと2025年の抱負を語っていただきました。



主将に就任して今の気持ちは？

任命された時は「え！私？」と思いました。というのも学生時代から今まで主将という立場に立ったことがなく、性格的にも引っ張っていくというよりも、下で支えるという感じのタイプだったからです。なので、就任直後は「キャプテンなんだ、やらなきゃ！」という気負いと「私でちゃんと務まるかな」という自信の無さも感じていました。

ですが、先輩やスタッフから「まずは自分のことに集中していいよ」とアドバイスをもらい、「そこまで気負わなくもいいんだ」と少し気持ちが楽になりました。年上の先輩が多くいらっしゃるので、今は頼って探りながら務めています。



主将としての意気込みとめざす主将像とは？

私は表立ってみんなを引っ張る性格ではないですが、主将に任命されたことで「やるからにはちゃんとしたい！」という思いが強くなりました。「行くぞ！」とみんなを引っ張っていくというよりも、チームメイトが目標を見失わないよう目標へと導くレールのような存在になっていけたらと思っています。現在は、駅伝の重要区間を先輩に頼ってしまっている部分があるので、走りでも頼ってもらえるようなキャプテンが理想かなと思います。

2025年の選手としての目標と主将としての目標とは？

選手としての目標は、スピードを磨くことです。そのため、5000mをメインに走っていこうと考えていて、日本選手権の標準ライン 15分40秒を目標にチャレンジしたいと思っています。まだ実力が足りていないので焦らず1年かけてやっていきます。

駅伝ではまだ2区と4区しか走っていないので、どの区間でも走れるようにレースの幅を広げていけるように準備をしていくつもりです。1月の勝田マラソンでは10kmの部に出場します。

いつかフルマラソンもやってみたいという気持ちはありますが、まずはやるべきトラック種目を頑張ります。そして主将としての目標は、クイーンズ駅伝が開催地を仙台に移してからの過去最高順位である13位を達成するため、チームを導いていけたらと思っています。

応援して下さる方に向けてひとこと

私と同じ年でムードメーカーだった佐々木芽衣・瑠衣選手が抜けたことで今はまだ少し寂しい思いもあります。ですがこれから新しい選手も加入し、チームのカラーも変わっていくと思うので、私たちらしいチームカラーを作っていきたいと思います。

また、去年はひたちなか市の産業交流フェアに参加し、たくさんの方にお会いでき、「HITACHIに陸上部があるんだ」と知ってもらったり、子どもたちに陸上に興味をもってもらえるきっかけになったり、いい機会になったなと思いました。地域の方や会社の方にも声をかけていただくと、応援して下さっている方がいらっしゃるんだなと実感し、練習の活力になります。

特にレース中は「カレン！」と名前を呼んで応援していただくとよくわかるので嬉しいです(笑)。応援して下さる方々に元気を届けられるような走りをしていきますので、これからも応援よろしくをお願いします。

鈴木 樺連 主将



鈴木 樺連 (すずきかれん)
2022年入部 岩手県出身

前に出るのが苦手なタイプとは思えないくらい、レースでは気迫ある走りを見せるのは父親から「気合が大切」と教えられたからだとか。



今年も
応援よろしく
お願いいたします！